

# デジタルガーデン:次世代の知識管理

2022-05-07

Affiliation: Japan Advanced Institute of Science and Technology

Doctoral Program 2nd Year

Name: ADACHI Yuya

E-mail: s2120001@jaist.ac.jp



● 自己紹介

(1 min)

● デジタルガーデンとは何か? (What)

(4 min)

● なぜデジタルガーデンが必要か? (Why)

(4 min)

どうやってデジタルガーデンを作るか? (How)

(15 min)

• 参考文献

(1 min)

合計 25 min



- 氏名:足立 優也 (ADACHI Yuya)
- 所属:JAIST 青木研究室 博士後期課程 2 年生
- 研究:FLOSS 組織の権限分布に基づいた持続可能性メトリクスの提案
  - OSS (Linux や Firefox) は大半がボランティアによって開発されている
  - 過去には OSS が原因で深刻なセキュリティインシデントが発生
  - 採用する OSS がどうなのかを客観的に判断できるようにする
- 趣味:ブログ書いたりアニメ観たり
  - Abstract Archives (<a href="https://absarcs.info/">https://absarcs.info/</a>)
  - 今期も20作品ぐらい視聴中



## デジタルガーデン (What)



- デジタルガーデンとは、知識管理哲学の一種
- Mark Bernstein が提唱した Hypertext Gardens がベースになっていると言われている [1]
- 知識管理をガーデニングに例えて、いくつかのフェーズに分類しているのが特徴
  - 種 (Seed):小さなメモなど・・・(1)
  - 芽 (Bud): 発表資料など・・・(2)
  - 木 (Tree):ブログ記事やプロシーディングなど・・・(3)
  - 森 (Forest): 書籍やジャーナルなど・・・(4)
- どのように自分のガーデン (知識)を育てるかが議論されている



[1] Mark Bernstein, Hypertext Gardens: Delightful Vistas, <a href="http://www.eastgate.com/garden/Enter.html">http://www.eastgate.com/garden/Enter.html</a>

# デジタルガーデン (Why)



- 「知識管理」はどうして生まれたのか?
  - メモは取るけれど必要な時に見つからない
  - 5 同じ論文を Google Scholar で何回も検索している
  - 実験データがグチャグチャで発表前に同じ実験をする
- これらは知的労働者の共通の悩み
- この悩みを解決するために様々な手法が提案されている o メモ術、ノート術、ブログや Wiki
- デジタルガーデンも知的労働者の悩みから生まれた概念





↑ デジタルガーデンも「銀の弾丸」ではない



- デジタルガーデンの How to は 2 パターン考えられる
  - (1) 他の人のデジタルガーデンを視察する
    - Andy Matuschak や Maggie Appleton などのデジタルガーデン界隈で有名な人たちが自身のデジタルガーデンを公開している
  - (2) デジタルガーデンの理論体系を勉強する
    - Zettelkasten や Smart Notes などの既存手法がある
- (1) も (2) も, しっかりと理解するには時間的コストが大きい
- 今日は、私のデジタルガーデンをサクッと紹介する
- 私のデジタルガーデンは4つのフェーズ(種回収→種まき→収穫→出荷)に分かれている
- それぞれのフェーズの説明や使用しているアプリなどを紹介していく



- 三上¹で発生する思考(種)を,とりあえず回収する(メモる)
  - o "メモは忘れないために取り, 忘れるために取る"
- 「ただメモれ」ではセンスがないので、回収方法をいくつか紹介する
- ▼ アナログ
  - 紙とペンでメモる
    - → 安い + 素早くメモれる
    - → 抽象的なものでもイラストなどで表現できる
    - ママホがある現代では持ち運びに抵抗がある
- ▶デジタル
- ▶ ハイブリット



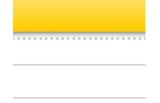
<1>馬上・枕上・厠上などのアイデアが浮かびやすいシチュエーションを表す言葉

## デジタルガーデン (How):種回収



- 三上¹で発生する思考(種)を,とりあえず回収する(メモる)
  - o "メモは忘れないために取り, 忘れるために取る"
- 「ただメモれ」ではセンスがないので、回収方法をいくつか紹介する
- ▶アナログ
- ▼ デジタル
  - テキスト: Google Keep や Apple 純正メモなど
    - →無限に近いメモを場所を圧迫せずに持ち歩ける
    - 撃理を怠ると必要なメモが埋もれて腐る
  - ボイス: Alexa や Siri など
    - → 両手が塞がってもメモれる
    - ₹ 外出先では抵抗がある
- ▶ ハイブリット









## デジタルガーデン (How):種回収



- 三上¹で発生する思考(種)を,とりあえず回収する(メモる)
  - o "メモは忘れないために取り, 忘れるために取る"
- 「ただメモれ」ではセンスがないので、回収方法をいくつか紹介する
- ▶アナログ
- ▶デジタル
- ▼ ハイブリット
  - iPad + Apple Pencil など
    - → アナログとデジタルのいいとこ取り
    - ₹ 初期投資にコストがかかる



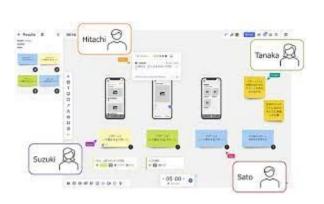
<1>馬上・枕上・厠上などのアイデアが浮かびやすいシチュエーションを表す言葉



- 回収した種を一箇所に集めて育てていく
- メモを一箇所に集めることで以下のようなメリットがある
  - o 定期的にメモを一箇所に集めることでメモが腐ることを防ぐ
  - o 一箇所に集める際に取捨選択することで古いメモを捨てる
  - o メモを俯瞰的に見ることで新しいメモが生まれる
- メモを俯瞰的に見るために無限キャンパスに対応したバーチャルホワイトボードがオススメ
- 私は、その中でも Miro (https://miro.com/ja/) というアプリケーションを愛用している



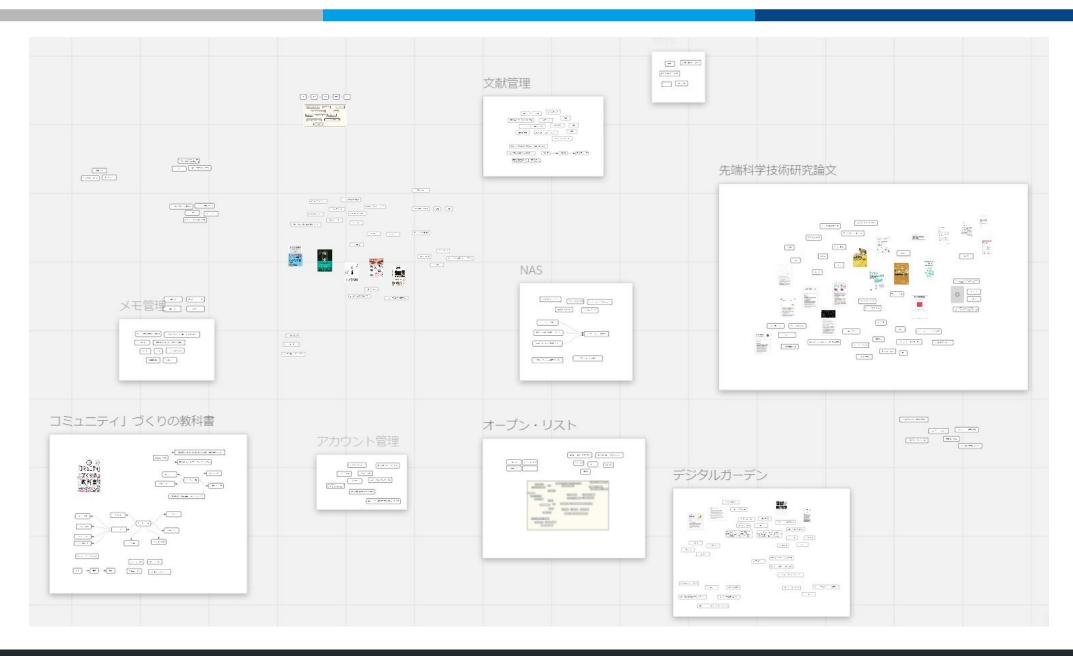






#### デジタルガーデン (How):種まき



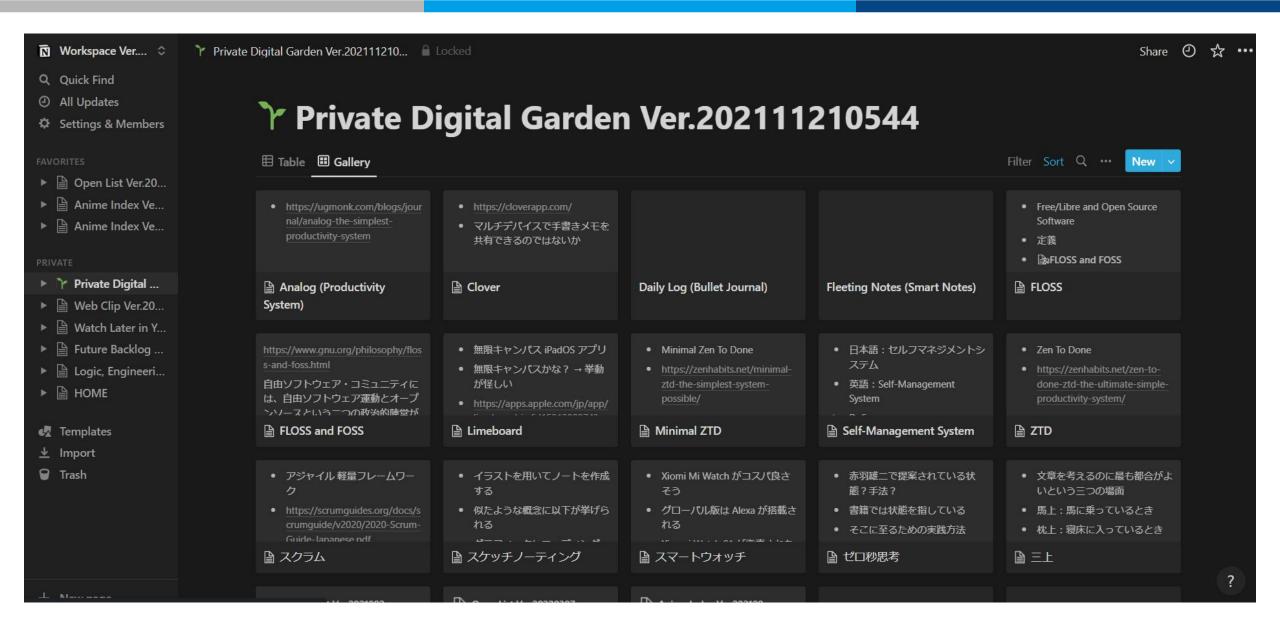




- メモがある程度, 固まってきたら文章化する
- 収穫した文章は無闇にフォルダ分類しないことが大事
  - o 複数のフォルダに分類される文章が現れるとシステムがすぐに崩壊する
- フォルダで分類するのではなくハイパーリンクによって文書の鮮度を保つ
  - Wiki のようにページ同士をハイパーリンクで接続する
- フォルダー分類しないと情報が埋もれそう
  - o ハイパーリンク + テキスト検索 + 押し出し法があれば情報は埋むれない
  - Google 検索で情報が埋もれていると感じることは、ほぼないはず
- OneNote や Evernote でも管理できるが Obsidian や Notion などのアプリがオススメ
- 私は Notion を愛用している

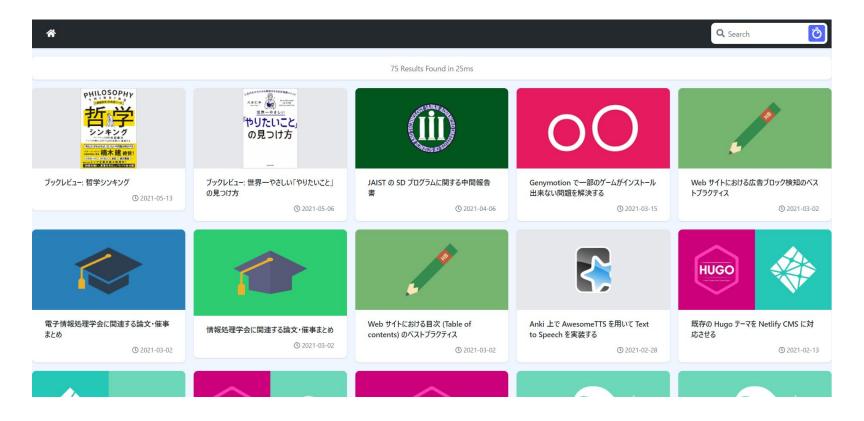
#### デジタルガーデン (How):収穫







- Notion 内で公開できそうなものを選んで公開する
- Qiita や Zenn, note など公開可能な場所は色々ある
- 私は自分のサイトである Abstract Archives (https://absarcs.info/) に出荷している









- 他の人のデジタルガーデンを視察したい場合は Maggie Appleton が公開している デジタルガーデンに関する awesome [2] が参考になる
- Zettelkasten や Smart Notes などの既存手法から学びたい場合は Soenke Ahrens (著)
   二木夢子(翻)の「TAKE NOTES!」が参考になる
- jMatsuzaki が自身のブログ (<a href="https://jmatsuzaki.com/">https://jmatsuzaki.com/</a>) で Zettelkasten に関する内容を発信している
- デジタルガーデンに関しては日本語の情報が、ほぼない
- 五藤隆介の記事 [3] が数少ない日本語の記事になる

- [2] Maggie Appleton, awesome-hugo, <a href="https://github.com/MaggieAppleton/digital-gardeners">https://github.com/MaggieAppleton/digital-gardeners</a>, GitHub.
- [3] 五藤隆介, デジタルガーデン, <a href="https://publish.obsidian.md/knowledgestack/notes/%E3%83%87%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%AC%E3%83%BC%E3%83%87%E3%83%BB8</a>
  B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%AC%E3%83%BC%E3%83%87%E3%83%B3

